

くらしに役立つお金と生活の知恵を学ぶ

vol. **32**

2015 春号

くらし塾 さんゆう塾

●巻頭インタビュー

苦労を笑いに変える

コミュニケーション力

タレント パトリック・ハーラン

●連載エッセイ 心の経済学入門

心の経済学で暮らしを考える

— よりよいライフスタイルへの示唆

経済学者 眞壁昭夫

●そこが知りたい! くらしの金融知識

人生のリスクマネジメントと保険

●金融教育の現場レポート

じょうずに使おう物やお金

くめざせ、買物名人く



知るぽると

金融広報中央委員会

苦労を笑いに変える
コミュニケーション力

巻頭
インタビュー

パトリック・ ハーラン

さん

タレント

くらし塾
さんゆう塾

vol.32

●巻頭インタビュー 2

●家計管理・生活設計のツボ 6

〈第4回〉家計をバランスシート
で考えてみよう

●まんが わたしはダメサレナイ!! 8

海外所在の無登録業者による
「バイナリーオプション取引」詐欺

●連載エッセイ 11

—心の経済学入門—

〈第4回〉心の経済学で
暮らしを考える

—よりよいライフスタイルへの示唆

●そこが知りたい! くらしの金融知識 14

人生のリスクマネジメントと
保険

●なるほど知るぽると 18

中学生・高校生を対象とする
作文・小論文コンクールの審査結果

●金融教育の輪 20

一般社団法人 日本損害保険協会
運営管理機関連絡協議会

●金融教育の現場レポート 22

じょうずに使おう物やお金
～めざせ、買物名人～

●金融広報アドバイザーの誌上セミナー 26

中高生が知っておきたい
ホントに大事なお金の話

●金融・経済 おもしろ豆知識 28

〈第4回〉童話「イソップ物語」

●おたよりコーナー 29

●都道府県金融広報委員会一覧 30

●まなびや訪問 31

札幌市立北光小学校

●題字 矢田勝美

●表紙イラスト オオノ・マユミ

「ハーバード大学出身のお笑い芸人」という異色の経歴で、1997年に日本の芸能界にデビューした米国人パトリック・ハーランさん。

現在では、お笑いコンビ「バックンマックン」のバックンとしてだけでなく、情報番組のコメントーターや大学講師など多方面で活躍中です。自称「お笑い界きつての儉約家」というハーランさんのお金についての考え方やそのポジティブな人生観についてうかがいました。

秀才を育てた教育一家

ハーランさんは1970年、アメリカ西部コロラド州の出身。祖父もハーバードで学んだことがあり、父親は修士号を2つも持つ秀才、母親も音楽教師や小学校教師の経歴がある教育一家に育ちました。

母親はハーランさんが高校生までは、宿題の論文を提出前に読んで、修正を指示するほど教育熱心。「良い成績を持つて帰ると、オーバーなほど喜んでくれました。また、家計は火の車だったのに『好きなピザを食べ放題にしてあげる』と、ごほうびがもらえました。いつも期待してくれる母に良い報告をすることが楽しみでしたね」。

子ども時代は、劇に出ると脇役なのに主役より目立とうとするような「活発だけど落ち着きのない、明るけれど迷惑な子ども」だったというハーランさん。小学校では問題児クラスに移された時期もありましたが、学業は優秀だったので、高学年のときから周囲の学校から優等生を集めた特別学級に入って英才教育を受けた経験もあったそうです。そんなハーランさんも高校生のときに大いに反省させられた思い出があると言います。

「友人をからかっていたところ、先生から『君は自分が思っている以上にみんなからも尊敬され、リーダーシップがある。そんな君から毒舌でからかわれた人の気持ちを考えられないのか』と言われました。得意のジョークで笑わせているつもりだったのに、相手を傷つけていたと知り、ショックでした。そのときの気持ちは今でも忘れません」。

また、同じ高校の英文学の先生は「君はとてもできる」と言いながら最後までA評価をくれませんでした。文句を言ったところ、「ほかの生徒より良くて、君の中ではBだから。本気でやらないとAはあげられないよ」とびしやり。

「良いところを人に見てもらいたい性格だったので、母も先生も、上手に良いところを伸ばしてくれたのだと思います」。

周りの人たちから時に優しく時に厳しく励まされながら育ったハーランさんは、周囲の期待に応えたいという気持ちで努力を続け、やがてハーバード大学へと進学することになります。

サムライニッポンは意外にもオープンマインド

大学を卒業した1993年、当時日本に就職していた中学時代の友人に誘われ来日。英語の教師として福井県で生活を始めます。映画などの影響からサムライ文化をイメージしていたハーランさんは、現代日本が「意外と普通」なことに驚いたそうです。

「実は中国と日本の違いもよく分からないまま来日しました。日本語を学び、日本人と深くつき合うことで、アメリカ人との違いや日本人の良さが分かるようになってきましたね。日本人は自分たちを

シャイな国民だと思っているかもしれませんが、居酒屋へ行けば、どの席でも笑い声が絶えませんし、企業の会議でジョークを言っても笑顔を見せてくれる、明るく優しい国民性だと思います。働きアリのイメージもありましたが、仕事を終えて遊びに行ったり、土日はスポーツをしたり、みんな人生を楽しむことにも積極的ですよね」。

上京後はお笑い芸人としてデビュー。テレビの英会話番組で長く活躍したり、俳優、情報番組のコメントーター、大学の講師など、多彩なキャリアを築いていきます。

もともと、順調なばかりではありません。お笑い芸人としてはまず、「何を日本人が面白がっているのかが分からない」という大きな壁にぶち当たります。歴史、習慣、流行などさまざまな文化背景をネタにしたコメディの場合、それらを知らない外国人には「何がウケているのかさっぱり分からない」というのは当然です。ハーランさんも、先輩の漫才を見ては「どうして今のお客さんが笑ってるの？」と相手のマツクンを何度も質問攻めにして困らせたと言います。

「ただ、日本のお笑いには便利な『突っ込み』があります。この『突っ込み』に注目すれば、何が面白いのか、そのカテゴリーやパターンが見えてくるんです。『いつの話だよ』と突っ込みが入れば、時代がズレていておかしいという意味でしょう。そうやって何がウケているのかを研究して、日本の笑いを理解していききました。ただ、どう頑張っても理解できないのが『一発ギャグ』のジャンル。この感性だけは身に付きませんね」。

日本のお笑いも理論的に分析したというハーランさん。2007年には相方と英語漫才で凱旋帰国し、大成功を収めています。

ハーラン家のおこづかい・子育て論

ここで、日米の違いをよく知るハーランさんに、アメリカのおこづかい事情や自身のお金にまつわる思い出をうかがいました。「アメリカでも子どもにおこづかいを渡す習慣がありますよ。旦那さんの『おこづかい制』は聞かないけれどね…」。

アメリカのおこづかいは、家庭によって異なりますが、週に「年齢×50セント」など、ルールを決めてあげているケースが多いそうです。

「僕が子どもだったころは『年齢×25セント』くらい。僕は週に1ドルくらいもらっていましたが、それだけだと何も買えないので、まずは貯めるというのが習慣でした。ただ、100ドルくらいまで貯まると今度はなかなか使えないんです。たし

インタビュー

パトリック・ハーラン



か10歳のとき、クリスマスに買ってもらった自転車ですぐに壊れてしまいました。中古だけどオフロード用のものなのに、買った店に修理に持っていってたら『荒れた道を走るからだ』だって。結局、自分で貯めたお金で250ドルの中古自転車を買いしましたね。今振り返ってみても、その自転車が人生最大の思い切った買い物だったように思います」。

日本については、「日本の子どもたちは、おこづかいを貯めようという意識があまり感じられないし、学費も自分で払わない学生がほとんど。アメリカでは幼いころから金銭的にも自立心を養い、『まず貯めよう、そのあと使おう』というスタンスを身に付けさせようとしている」といった印象を持っています。

ハーランさんは、7歳のときに両親が離婚し母親と二人暮らしとなり、家計を助けるために10歳から新聞配達のアルバイトを始めるなど「苦勞人」の一面も持っています。

「お金に苦勞する母の姿を覚えているので、僕は出費が収入を超えるような生活なんて絶対に考えられません」と話す一方で「貧乏な生活はしましたが、僕は恵まれているのだと思います。健康だし、いろいろなことができて、自分に自信も持てたから。中古自転車の話を明るく振り返れるように、『お金がなくてもへっちゃらな自分はかっこいい』という自己肯定感が身に付きましたし、お金や物に振り回されない価値観をもって生きてこられたように思います」。過去の辛い経験とともに学んだお金の大切さ、自分への自信は、ハーランさんの人格形成に大きな影響を与えているようです。

2児の父親でもあるハーランさんですが、まだ、自分の子どもたちにはおこづかいはあげていません。他人からもらったお年玉などは親が預かり、買った

い分だけ出してあげるようにしています。ただし、使いみちは、基本的に1〜2割を寄付、2〜3割を貯金に回し、使っているのは残り分と決めています。また、遊び方にはごほうび制を導入。お手伝いなど褒められることをポイントに換算し、例えば6点貯まると20分ゲームができるというルールを取り決めています。これで、子どもたちは週末に友だちとたくさんゲームをするためにポイントを貯め、平日はゲームをがまん。「がまんできる子になってほしい」という狙いだったそうですが、「この方法で、子どもたちはゲームをするためにポイントを稼いでいたのに、いつのまにか、ポイントそのものが貯まっていくこと」を楽しんでいるという意外な発見がありましたね」と、子煩悩な父親の一面を覗かせます。

アメリカでは身近なお金や投資の話

アメリカは日本よりはずっと投資に積極的な国柄。お金の教育は親をはじめ、学校でもたびたび行われているそうです。ハーランさんも小学生のころから母親と連名で銀行口座を持ち、支払いに使った小切手の記録を小切手帳に書いておく金銭管理の方法など、基本知識を教わったといいます。

「中学校の社会科ではシミュレーションゲームをやりましたね。いろいろなことが起きる人生の中で、収入と支出のバランスを考えながら家計を運営してみるのです。そこで家計簿の付け方、車を現金で買うかローンで買うか、いくらぐらいの家を買うか、といった判断の仕方などを学びます。投資に失敗して生活が苦しくなったり、病気をしたら保険に入っておらず、まだローンが残ってい

る車を売る羽目になったり…。さまざまなパターンのクラスメイトがいましたが、僕はゲームの中でも粗大ゴミを拾って節約しているような生徒でしたね」。「また、日本ではあまり知られていませんが、複利でお金が2倍になる年数が分かる『72の法則』[※]というものがあります。僕は親から教わった記憶がありますが、アメリカでは有名なので、皆さんも覚えておくとう便利ですよ」。

来日して2年間、一生懸命働いて大学の奨学金を全額返済したハーランさん。そこから資産運用をスタートさせたと言います。

「当然の話ですが、借金があるなら投資はしません。でも、余裕があるなら投資をするのがアメリカでは一般的ですから」。

外ではとんどお酒を飲まないハーランさんは「家飲み派」で自他ともに認める「倏約家」。資産運用も手堅く、子どもの進学などでまとまったお金が必要なときに備えています。その一方で、日本の住宅ローンの金利の低さに着目し、自宅は早々に購入したそうです。

「子どもには、『家賃がもつたいないと判断したなら家を買いなさい、家を持つなら将来価値が上がりそうな家にしなさい、借金がなくて余裕があるお金なら投資しなさい』などと、父親のお金についての考え方を今から話していますよ」。

日本で再発見した ハーバードで学んだこと

ハーランさんは、ハーバード大学で比較宗教学という珍しい専攻を修めています。「入学当時、300人以上も学生のいる英米文学より、15人の学生で世界トップレベルの教授陣を独占できる比

較宗教学の方がずっと面白いと誘われ、専攻を決めました。でも、宗教に関する知識そのものはあまり役に立っている実感はありません」と笑います。

実は大学で知識以上に培われたものは、情報収集や分析の方法、自分の考えの伝え方、他人の意見からの学び方など、学習するための知恵だったと言います。

「例えば日本に来て、自分の育った文化とは全く違うものを学ぶことになったわけですが、宗教間の共通点・相違点を客観的かつ的確に捉える力などは、日本を理解する際の下地になっていると思います」。

ハーバードで学んだ「知恵」は今も役に立っていることを実感するというハーランさん。「僕は大学で、コミュニケーション力を高めるさまざまな方法を身に付けてきました。最近では人を引き付ける話術について書いた著書を出しましたし、大学で講義もしていますが、こうした『コミュニケーション学』を今後のライフワークにしていきたいと思っています」。

ハーランさんによると、日本の学生は「先生の言うことを聞き、試験には真面目に取り組み、授業でも私語が少なく、規律を守る素直な人が多い」。対照的にアメリカの学生は、「授業中は私語ばかりで遅刻も多い。先生と自分是对等の立場だと思っているから先生の言うことにも懐疑的ですぐ議論に

なる」と言います。さらに「日本の学生は模範解答を返すのは世界一でも、自分の思いを伝える表現力やコミュニケーション力が弱い」といった印象を持っており、そこを大学で教えていきたいと言います。バブル崩壊直後に来日し、またお笑いブームが下火になる時期に漫才コンビ「バックンマックン」としてデビュー。「なんとも微妙なタイミングばかり」と笑うハーランさんですが、今の活躍に辿り着いた原動力はハーバード流のコミュニケーション力だったのかもしれない。

「僕の人生は、すべて誰かとの出会いが始まりになっています。例えば、僕が来日したきっかけは中学時代の友人。そして、東京で相手のマックンに出会ったことがコンビ結成のきっかけでした。それ以外にも、節目節目に大きな影響を受ける人びととの出会いがあり、前向きに行動するきっかけになっていたことは間違いありません」。

日本の若者に「コミュニケーション学」の輪を広げていきたいと目を輝かせて語るハーランさんの言葉には、日本への深い思いが感じられました。



●パトリック・ハーラン

バックン 本名パトリック・ハーラン。1970年11月14日生まれ。コロラド州出身。ハーバード大学を卒業したあと来日。1997年、吉田真とバックンマックンを結成。日米コンビならではのネタで人気を博し、その後、情報番組「ジャスト」、「英語でしゃべらナイト」(NHK)で一躍有名に。「世界番付」(日本テレビ)、「未来世紀ジパング」(テレビ東京)などにレギュラー出演。教育、情報番組などに出演中。2012年から東京工業大学非常勤講師に就任し「コミュニケーションと国際関係」を教えている。その講義をまとめた「ツカむ! 話術」(角川oneテーマ21)を4月に出版。
公式サイト <http://www.havmercy.co.jp/>

※【72の法則】「72÷金利」を計算すれば、元のお金が2倍になる年数が出てきます。例えば、金利3%でお金を運用した場合、72÷3=24ですので、24年で2倍になることが分かります(本誌2014年春号の「金融・経済キーワード」でも紹介しました)。

家計管理・生活設計のツボ

第4回

家計をバランスシートで 考えてみよう

人生は山あり谷あり。家計にだって余裕のある時期もあれば、家を建てたとき、子育て期、病気をしてしまったときなど、厳しい時期もあります。大切なのは一時的な山谷に一喜一憂することではなく、現状を正しく把握しながら持続可能な家計を営むこと。今回は、その実現に一役買う「バランスシート」の作り方をお伝えします。

- 👉 **ツボ1** 日々のやりくりだけでは家計の全体像を把握していることにはならない
- 👉 **ツボ2** バランスシートを作成すると、経営者の視点で家計が見られるようになる
- 👉 **ツボ3** 未来の「見えない資産や負債」を考慮すれば、夢の実現イメージも見えてくる

家計の「本当の姿」、 分かっていきますか？

皆さんは、ご自身の家計状況をどのくらい把握していますか？

「今のところ借金はないから、多分大丈夫」という人、「毎日家計簿をつけているから把握できているはず」という人も、それだけで十分でしょうか。なぜなら、家計を把握することとは、日々やりくりするお金だけではなく、貯金や株式・不動産などの「資産」、クレジットやローンに代表される「負債」なども含め、家のお金にまつわることをトータルに認識することだからです。

以前、このコーナーでは、夢を実現するための助けになる「ライフプラン表」を紹介しましたが、今の家計状況が正確に把握できていなければ、夢や計画がすべて「絵に描いた餅」になってしまう可能性もあります。

そこで今回は、家計の現状を把握して将来の夢を実現するのに役立つ、「バランスシート」を作成してみましょう。

「家計バランスシート」を作ってみよう

バランスシートとは、貸借対

照表」とも呼ばれ、企業の決算報告などに使われる財務諸表のひとつです。「それを家計に持ち込むなんて、大げさなのでは？」と思うかもしれませんが、経営者になったつもりで家計を見渡すと、隠れていた問題点に気付いたり、ちよつと危なっかしい家計を健全化するためにはどうしたらいいだろう？と、考えられるようになるのです。

つまり、家計の「まさに今」を知ることが、将来にわたってお金を有効に使うことにつながっていくというわけです。

バランスシートの基本形は図表の通り。左側に「資産」―貯金や不動産などを、右側に「負債」(マイナスの資産)―ローンやクレジットなどを、それぞれをすべて書き出し、負債の下に純資産を記入するというのが一般的なスタイルです。

「純資産」とは、資産から負債を引いた金額で、「資産」をすべて使って「負債」を返済した場合に手元に残る金額と考えると分かりやすいでしょう。家計の健全度、余裕度がこの数字に表れます。

例えば仮に、立派な家に住んで高級車を持つていても、多額のローンを抱えていて純資産が100万円であれば、ローンがなく100万円

円を貯金している場合と、数字上では、家計の健全度、余裕度は同じということになります。

ここがバランスシートの優れた点で、「うちは大丈夫」と思っている姿が、作成してみると家計の本当の姿が、あぶり出されてきます。とくに、純資産がマイナスとなった「債務超過」の家計は、原因を洗い出し改善策を考える必要があります。

資産の性質を把握することも 家計チェックのポイント

バランスシートは、「今、この時点での家計のすべて」を明らかにするものなので、「たしか、だいたい、このくらい」ではなく、通帳、証券、契約書などを見ながら大きな漏れがないように記入しましょう。「積立貯金の残高が少ない。そういえば、2年前に一部引き出していたんだ」ということがあるかもしれません。

株式や外貨など価値が変動する資産については、インターネッなど相場を調べて直近の時価を記入します。また、不動産や自動車などの実物資産も時間の経過とともに価値が変わっていくものの代表例。バランスシートに記入するのは、購入時の値段ではなく記入時点での取引相場額になります(図表の「☆」の項目)。

[Aさん宅（夫40歳、妻37歳、子ども7歳、4歳）のバランスシート]

プラスの資産			マイナスの資産		
流動資産	普通預貯金	80万円	負債	住宅ローン	2,400万円
	定期預金	100万円		自動車ローン	30万円
	社内預金(財形)	480万円		教育ローン、奨学金	60万円
	株式	☆36万円		カード未払い金	50万円
	投資信託			その他	15万円
	保険 (終身保険、解約金含)	200万円			
	その他			計(C)	2,555万円
	計(A)	896万円			
固定資産	不動産 (土地、自宅等)	☆3,600万円	純資産 (A+B) - C		
	自動車	☆120万円			
	高額貴重品				
	その他				
	計(B)	3,720万円			2,061万円

保険は、貯蓄型であれば生命保険で満期を迎えた際、あるいは途中解約したときにお金を受け取れます。終身保険や学資保険、養老保険などは比較的高額なお金に戻ってきますので、資産として考えましょう。

資産を記載できたところで「流動資産」と「固定資産」に分けて整理してみましょう。流動資産はすぐに現金化して使えるお金、固定資産は解約や売却に手間が

かかるものや、住居等無いと生活に支障が出るものなど、簡単に現金化することが難しい資産です。このように分類しておく、「純資産には余裕があるけれど、万一のときの生活を考えるとすぐに使える流動資産をもう少し増やした方がいいな」といった判断ができるようになるわけです。

一方、負債も「今、この時点のすべて」を記入する原則は同じです。住宅ローンなど負債額の

大きいものは分かりやすいのですが、クレジットカードの分割払いや、通信料と一緒に支払っているため負債という意識が薄れがちなスマートフォンなど携帯端末の割賦金も、未払いのお金はすべて負債です。一つひとつは小さくても、積み重なると結構な金額になるものです。

将来を考えるための「見えない資産・負債」という発想

バランスシートができたところでもうひとつ。「今、この時点」というバランスシートの原則からは外れますが、どこか欄外にでも書いてみてほしいのが、「見えない資産と負債」です。

「見えない負債」とは、これからの人生で必要になる大きな費用です。

とくに、人生の三大支出といわれる、住宅、教育、老後にかかるお金については、いつ、いくらぐらい必要になるのか、純資産に対してどのくらい足りないのかを把握し、どのようにして捻出するかといったプランを家族で話し合うきっかけにできるといいですね。一方、お金を捻出する上で力になるのが「見えない資産」です。「見えない資産」とは、家族

のスキルや知識、仕事上の人脈など収入を生み出す源泉のことです。家計強化に繋がると考えれば、自己研鑽にもますます力が入るのではないのでしょうか。

純資産を増やすためには、収入や運用によって資産を増やし負債を減らす」ということが必要ですが、将来のバランスシートの姿を考えることで、資産運用をしてみようという場合も、自己投資をしてより収入の良い仕事への転身を考える場合も、「いくらまでならお金をかけられる」といったイメージが描きやすくなります。夢や目標をより多く叶える人生を送るためにも、バランスシートはより早いタイミングで作ってみることをお勧めします。

年度が替わる春は、バランスシートを作成する絶好のタイミング。みなさんもぜひチャレンジして、家計のリアルな全体像をご家族みんなで共有してみてください。

【参考URL】

●知るぼると…バランスシートで資産負債のバランスを分析する
<http://www.shiruboru.jp/finance/kinu/hyakka/hk1303.html>

わたしは 第28話 海外所在の無登録業者による「バイナリーオプション取引」詐欺

ダマサレナイ!!

●監修

中谷 薫

(なかに・かおる)

横浜市消費生活総合センター／
消費生活専門相談員

このコーナーで紹介するまんがは、実際に起きた事件をもとに、その「だましのシーン」を再現したものです。
なぜだまされてしまうのか？ ここで再現する巧みな策略に、その秘密が隠されています。
「私だけは大丈夫！」なんて甘く考えてはいませんか？ 実はそう考える人こそ被害に遭いやすいのです。



簡単に儲かる取引を装い、投資経験のない若者をターゲットとする「バイナリーオプション取引」詐欺が増加

携帯端末の普及に伴い、いつでもどこでもインターネットを利用できる現代。とくにスマートフォン利用者、中でも金融や投資に対する知識が乏しい若者へ「簡単に儲かる」といううたい文句で詐欺を働く海外所在の無登録業者による「バイナリーオプション取引」詐欺事件が増加しています。

ポイント1

バイナリーオプション取引とは

バイナリーオプション取引とは、投資対象（例えば為替相場や株式指標、商品先物など）の値が、予め決められた期間に上がるか下がるかを予想する取引のこと。一見簡単そうに見えますが、実際は専門知識や高度なリスク管理能力を必要とする大変難しい金融商品です。取引期間終了時（権利行使期限）に、予想が当たっていた場合（または下回った場合）は一定の金額を受け取ることができ、予想が外れると支払った投資額を全額失うことになってしまう恐れもあるハイリスク商品です。

為替相場や株式指標を対象とするこのバイナリーオプション取引は、金融商品取引法上の店頭デリバティブ取引に該当するので、たとえ海外に所在する業者であったとしても、日本の顧客との間でバイナリーオプション取引を業として行う場合は、金融商品取引業の登録が必要となり、無登録でこの取引を行うことは、金融商品取引法違反となります。



ポイント2

スマートフォンを利用する若者を標的にした無登録業者による詐欺事件が増大

最近、金融商品取引業の登録のない海外所在のバイナリーオプション取引業者が、スマートフォンを利用する若者を標的にして、繰り返し取引させる詐欺事件が増大しています。金融商品取引業の登録業者に対しては、金融先物取引業協会の自主規制ルールがあり、「取引開始にあたっては顧客の知識や理解の程度、投資経験などを確認しなければならぬ」、「最低取引時間は2時間以上とする」、「短時間のEngtoto型は禁止」などとなっていますが、無登録の悪質業者はこのようなルールは無視します。海外所在業者としながらホームページには日本語表記だけで「誰でも儲かる投資術」、「上がるか下がるか(Engtoto) 予想をするだけ」、「投資の専門知識がなくても大丈夫」など甘い言葉で誘い、取引時間も10分くらいの超短時間に設定し、スマートフォンを使って誰でも簡単に始められる取引のように装います。

ポイント3

取引が始まると夢中に…気が付いたときはすでに時遅し

無登録業者の行うバイナリーオプション取引の投資対象は、ほとんどが「円ドル」や「円ユーロ」などの為替相場で、超短時間の為替の動きを予想するものです。取引を開始する際は、「名前」、「生年月日」、「クレジットカード番号」を入力するだけ。もちろん無料で簡単に登録できます。

登録が完了すればスマートフォンを使って、即、取引開始。上がるか下がるかを予想するだけの一種の「賭け」のような取引はゲーム感覚で楽しめ、被害者を夢中にさせます。



この物語はフィクションです

【詳しい情報やご相談】
 ● 国民生活センター
http://www.kokusen.go.jp/news/data/n-20140904_1.html (2014/9/4 公表)
 ● 金融庁
<http://www.fsa.go.jp/ordinary/kanyu/20090731.html> (2014/9/17 更新)

無登録のバイナリーオプション取引業者とは絶対に取引しない
 無登録業者とバイナリーオプション取引を繰り返す、いつの間にか損失が大きくなっていた、「解約できない」、「儲かっているのに出金できない」などの相談が全国の消費生活センターに多数寄せられています。現在こうした海外所在の無登録業者については金融庁（財務局）が警告書を発出し、ホームページに名称を公表しています。こうした業者とは絶対に取引しないようにしましょう。困った場合はなるべく早く地元の消費生活センターに相談しましょう。

ポイント4
 取引金額は1回1万円くらいが多いようですが、被害に遭ったほとんどの人が何十回も取引を繰り返した結果、気が付いたときには、大損しているというパターンです。中には予想が当たって、利益が出ている場合もあります。ところが、利益分を手に入れようとして、業者に「出金申請」のメールを送ると「出金申請を受け付けました」と返事が届きますが、すぐに「出金申請がキャンセルされました」というメールが送られてきます。この意味のないメールのやりとりが続くだけで、実際には出金されることはなく、ここで被害者は、やっと詐欺だということに気がつくのです。



人は時として合理的でない行動をとります。
そうした生身の人間を前提とした経済学が行動経済学です。
経済学者の真壁昭夫先生が皆さんを行動経済学の世界にご案内します。

心の経済学で暮らしを考える

——よりよいライフスタイルへの示唆

これまで、行動経済学の特徴を3回にわたって説明してきました。第4回は総集編として実際の暮らしで役立つ視点を紹介したいと思います。

第1回、第2回で述べた通り、伝統的な経済学は中長期的な観点で経済を分析することを目指してきました。その中では、私たちは合理的に行動し、市場は効率的であるとの仮定のもとで研究が進められてきました。金融資産の評価や分析に用いられている金融工学も伝統的な経済学の一分野であり、中長期的な資産価格等を考えることを目指しています。

行動経済学では私たちはときとして合理的ではなく市場も効率的ではないことを認めた上で理論を構築します。それは短期的な市場の変動を説明するのに適しています。

金融市場では伝統的な経済の理論にはフィットしない例外的な事象「アノマリー (anomaly)」が発生しています。伝統的な経済学のサイドからも、既存の理論を修正し、アノマリーの説明を進めようという試みが進んできました。しかし、アノマリーを説明するには心の働きを理論の中に取り込んだる行動経済学に大きな優位性があると考えられます。

1 アノマリーを考える

アノマリーは伝統的な経済学で理論的に説明できない例外的な事象のことです。端的なアノマリーの例はバブルです。それ以外にも、

真壁 昭夫 (まかべ あきお)

経済学者。信州大学経済学部教授。1953年生まれ。76年一橋大学商学部卒と同時に第一勧業銀行に入行、83年ロンドン大学経営学部大学院（修士）卒業、85年メリル・リンチ社ニューヨーク本社出向。DKB INT'L出向・トレーディング部長。市場営業部および資金証券部の各市場営業グループ次長を経て98年第一勧銀総合研究所金融市場調査部長。その後、内閣府経済動向分析チームメンバー、第一勧銀総研やみずほ総研の主席研究員を経て2003年から信州大学大学院イノベーション・マネジメント・センター特任教授兼任、05年から同大学経済学部教授。著書は「日本がギリシャになる日」（ビジネス社）、「行動経済学入門」（ダイヤモンド社）、「実践 行動ファイナンス入門」（アスキー新書）、「下流にない生き方」（講談社）など多数。

投資の世界では、逆張りの投資戦略とか、カレンダー効果（1月に株式からのリターンが高まりやすい、月曜日は株価が下がるなど）といったアノマリーが知られています。

逆張りの投資戦略とは、市場の流れ（トレンド）と反対の売買をすること、つまり、価格が下落している株式を購入し、上昇している銘柄を売却することをいいます。この戦略が成立するための重要な条件は、金融資産の価格はいずれ平均的な水準に戻る可能性が高いということです。

伝統的な経済学は、金融資産の価格はランダムウォーク（でたらめな動き）に従い、将来の価格を予見することはできないと考えてきました。しかし、逆張りの投資戦略の有効性は必ずしも伝統的な経済学の考えが経済を支配するものではないことを示唆するといえます。

短期的かつ大きな市場の変化は、ニュースなどでも投資家による売り圧力が出たためといった、後付けの説明に終始することが多いように思います。何が投資家心理に影響したのか、アノマリーの要因をより深く理解する上で行動経済学の視点は役に立つと思います。

2 バブルとどう付き合うか

アノマリーをより身近に理解するために、バブルの発生と崩壊を考えてみましょう。

バブルの発生過程では、多くの投資家が我先にと株式や不動産に投資します。中には借

り入れにより、自分のお金以上の金額を投資や投機に振り向ける人もいます。これは、周囲がやるから自分もやるという群集心理に駆り立てられた根拠なき熱狂の産物だといえるでしょう。

そうした熱狂的な市場心理が拡大する中、一部の目ざとい投資家は早い段階で相場から手を引き、利益を確定させている可能性があります。景気の過熱感への懸念が高まり始めると、こうした投資家達は続々と売りの動きを加速させるため、バブル形成期を上回るペースで相場が下落し、バブルは崩壊します。

バブルには後始末が必要です。これは、バランスシート調整と不良債権の処理です。多くの企業や家計は支出よりもバブル期に積み上げられた借金を返すことを優先し、バランスシートの健全化が進みます。一方、金融機関は返済の可能性が低下した債権を償却（＝貸出を減らす）することで、財務内容の健全化を進めます。

バブルの後始末は、認知的不協和（自分の考えや期待とは異なる事実を突き付けられることによる不快感）との戦いといってもよいでしょう。投資家にとってバブルの崩壊は損失が雪だるま式に増加するリスクを高めます。一部の投資家や企業経営者は損の確定を嫌って資産の売却を先延ばししたり、損を挽回しようとするリスクの高い投資に走ってしまい、最終的な投げ売りのインパクトを増幅させてしまいかもしれません。また、銀行の経営者が不良債権処理に二の足を踏むと、景気低迷を長引かせるだけでなく、景気回復局面での貸

出のためのリスクテイクを抑圧する要因になるかもしれません。

このようにバブルの発生と崩壊には、私たちの心の働きが大きく関与しています。私たちが富を追求する以上、いつもどこかで大なり小なりバブルは発生している可能性があります。バブルに賭けて一攫千金を夢見するという判断もあるでしょうが、バブルは投資の規律をゆがめ、認知的不協和に直面するリスクをもたらしと考えると、一切バブルと思しき動きに手を出さないことも一つの方法でしょう。

3 脳の働きと経済学

アノマリーやバブルについて考えることで、心の動きと経済行動の関連が見えてきたと思います。ここで、新しい理論である神経経済学について、その一部を紹介することとしましょう。

人間の心理を考えることによって、現実の経済や金融市場の動きを分析しようとするのが行動経済学ですが、最近ではさらに進んで、人間が合理的ではないのは脳の働きによるものだから、脳の意思決定の仕組みを考えようという、新しい方向が示されており、それが「神経経済学」という理論です。考えてみると、人間が何かしようとするときには、頭＝脳で考えて意思決定するわけですが、投資行動であれば食べたり飲んだりであれ、することすべてが、最終的には脳の機能を考えればなぜそうするのかを説明できるはずですが、



最近の研究では、脳の中で分泌されるドーパミンというホルモンの一種が、重要な働きを担っていることが分かっています。私たちの脳は神経細胞の塊なのですが、ドーパミンは、その神経細胞の間で情報を伝達する役目を果たしていると考えられています。そのため、私たちが何かをしようとするときには、必ず脳の中でドーパミンが分泌され、それによって脳が意思決定を行い、体の各部に行動を起こすよう指示を与えています。例えば、投資行動を行うとき、脳の中で「今、この株式を買うと儲かるかもしれない」という情報が、ドーパミンの働きによって神経細胞の中でやり取りされ、それで実際の行動が起きることになります。

ドーパミンの分泌には、人間の経験や学習が反映されると考えられています。「かつて特定の株式を購入したら儲かった」という経験は、脳の中で一種の快感として残っているはずですから、ドーパミンの分泌を促し、「今度も、儲けられる可能性が高い」という情報となって、脳細胞の中でやり取りされるかもしれません。逆に、「相場が大きく乱高下するとき、儲けるのは難しい」という感覚が残っていると、「今は、おとなしくしておこう」という判断に結びつく可能性が高いといえるでしょう。

私たちの脳には、実際の経験や感情など多くの情報が蓄積されており、それがドーパミンの分泌に結びついて、日常の意思決定に大きな影響を与えていると考えられます。そうすると、適切な投資行動を行うためには、実際にを行った投資体験や、本などで勉強した知

識を頭の中で整理しておくことが大切だと思います。

それは、投資の意思決定を行うときに、経験や知識を整理しておかないと、脳の中に蓄積されたそれらの情報を適切に利用することが難しいからです。さまざまな情報が頭の中でゴチャゴチャになっていると、ドーパミンが適切なタイミングで分泌されないかもしれません。それでは、投資のタイミングをうまく掴むことができなくなってしまいます。

神経経済学やドーパミンについて知識があれば儲けられるといった単純な話ではありません。しかし、そうした脳の機能を知っていると、うまくいったとき、あるいは失敗したときに、その情報を次に生かすかたちで脳の神経細胞の中に残すことができるかもしれません。それができれば、投資だけではなく、日常生活の判断においても役に立つ知識といえるでしょう。

4 よりよい暮らしのために

英語では景気を「Business Cycle」と表現します。事業環境は良くなったり悪くなったりするもので常に循環しているという発想です。これを日本では「気」、すなわち人間の心理になぞらえて表しています。

バブル崩壊後のわが国は資産価格の下落に直面し「もうリスクをとることは懲り懲りだ」という「羹（あつもの）に懲りて膾（なま）す」を吹く状況であったといえます。そして、

私たちはリスクをとる投資よりも現金の保有を優先し、企業も設備投資や賃金を増やそうとしなかったため、デフレ経済が発生したのです。これは、現状に悲観するあまり、将来に対する明るい見方を持てなくなった社会全体の心の動きの結果だともいえるでしょう。

「消費者心理が改善し、消費性向が高まれば需要の伸びが期待でき、需給ギャップは解消に向かうはず」とはいうものの、一度凍りついた人びとの心理を解きほぐすことは、口で言うほど容易ではありません。

現在、異次元の金融緩和、機動的な財政政策、成長戦略から成る、いわゆるアベノミクスにより、わが国の経済は立ち直りつつありますが、これは国民の心に働きかけることを重視した政策が効果を表しているといえるでしょう。

とはいえ、少子高齢化や財政悪化など、私たちを取り巻く環境の厳しさを考えると、自分の暮らしは自分で守るという意識を持つことが大切であり、経済や金融について、自分なりに理解し判断する力はますます重要になっていしょう。金融商品に関する知識だけがあっても、バブルや相場の過熱感に翻弄されては、人生におけるお金の余裕度は低下してしまいます。そうならないためにも、伝統的な理論を用いて中長期的な経済の動きを考えつつ、短期的な動きを行動経済学の視点で理解することは、自身のライフスタイルに合ったリスクテイクを考える一つの視座になると思います。まずは、自分自身の意思決定について、このコーナーで紹介してきた行動経済学の理論をもとに考えてみてはいかがでしょうか。

人生のリスクマネジメントと保険

将来を見通したライフプランと資金計画を立てる上で欠かせないのが「もしも」の視点です。今回は、あなただけでなく誰にでも起こる可能性のあるさまざまなリスクにお金の面で備える「保険」について、その基本を学びながら人生のリスクマネジメントについて考えてみましょう。

ライフプランに必要な「もしも」の視点

週末に家族で旅行に出かけるとしましょう。「もし雨が降ったら」と傘を持つ、また電車に乗り遅れないように早めに家を出る、旅先で出費がかさむことがあるかもしれないので、予備のお金やクレジットカードを持っていく…など「もしも」に備えますね。大学受験の場合なら第一志望に合格できなかった場合に備えて、複数の大学を受験するでしょう。私たちは身近なことであれば「もし予定通りにいかなかったら」と、対策を講じるものです。

ところが、20年先、30年先のこ

ととなると「長い人生、何が起きるか、この先どうなるか分からない」と、遠い将来を考えることを敬遠しがちです。しかし、本誌でも何度か紹介しているように、充実した人生を送るためには、ライフプランを立て、いつ、どんなことでお金が必要になるのか、将来を見通すことが大切です。このとき「何歳で何をやりたいか」ばかりを思い浮かべがちですが、視点を変えて「誰と」そのライフプランを実現させたいかを考えてみてください。「何を」でなく「誰と」や「どんな人たちと」を考えると、ライフプランを具体的にイメージし易くなります。イメージが描けてくると、そのためのお金のやりくりも身近に感じられるでしょう。

発生頻度は低いけれど、家計へのダメージが大きいリスクに備える

人生にリスクはつきものです。ケガや病気、交通事故、年を取れば、介護が必要になる可能性もあります。また、火事や風水害や地震などで自宅が被害を受けるかもしれません。安定した職に就いたと思っても、倒産やリストラ

このとき、あまり考えたくないことなので目を背けがちですが、「もしも」を想定することが重要です。不測の事態が起きたときや、自分や家族に万一のことがあっても、ライフプランが崩れないように、夢を諦めなくていいように、必要な手立てを考えておくのです。

があるかもしれません。そうしたさまざまな「もしも」にどう備えたらよいのでしょうか。

図1は、人生に起こりうる「もしも」とその発生頻度を大まかにプロットしたものです。このうち、家計へのダメージが比較的小さいものは、預貯金で対応できるでしょう。また健康保険や雇用保険など、公的保険でカバーできるものもあります。備えなくてはならないのは、発生頻度は低いものの、発生すると家計へのダメージが大きいリスクです。

こうした「もしも」が起きたとき、お金の面で重要な役割を果たすのが保険です。

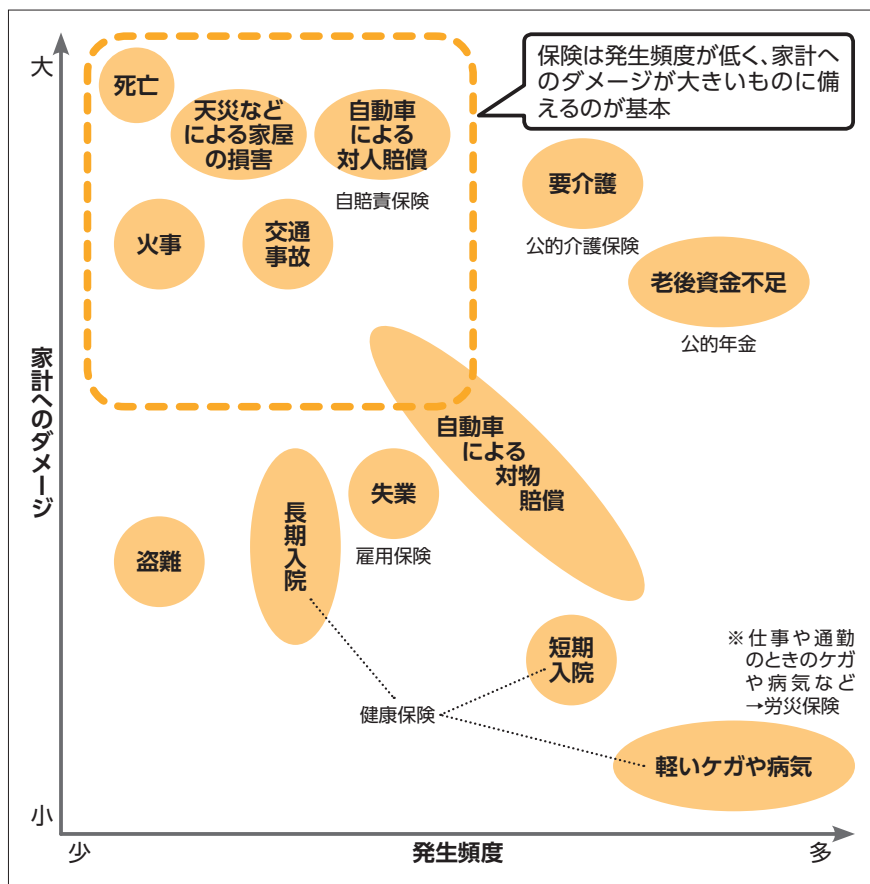
このうち自動車や住宅・家財などの「モノ」の損害や賠償に備え

【監修】

長島 良介 (ながしま りょうすけ)

2級FP技能士、心理カウンセラー、一級建築士、生命保険募集人・変額保険販売資格、損害保険募集人、損害サービスマスター、生命保険コンサルタント。東京サンコー株式会社代表取締役。著書／プロが教える! 年収300万円で生き抜くマネー術 (ソフトバンククリエイティブ) 取材・監修／週刊ダイヤモンド、読売新聞、クロワッサンなど。

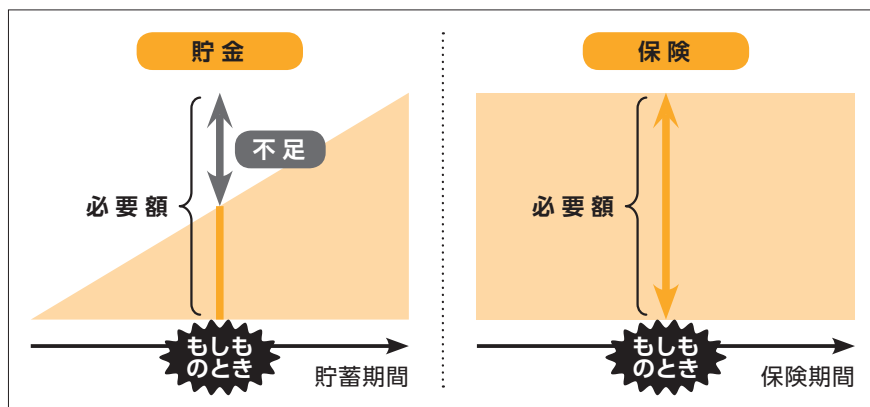
図1 人生のさまざまなリスク



るのが損害保険、「ヒト」に関するリスクに備えるのが生命保険です。地震や火事で住宅に住めなくなったり、交通事故で他人を傷つけてしまった場合など、一度に大きなお金が必要となる事態を考えると、保険は欠かせません。もちろん貯金でもカバーできますが、「貯金は三角、保険は四角」（図2）

あつて一度には増えませんが、掛け金を払えば契約した翌日でも、万一の場合に定められた保険金が出るのが保険の最大のメリットです。大勢の人がお金を出し合つて、減多にないが、起こると大きな経済的負担が生じる場合に備える相互扶助の考え方に立ったものが保険ですから、一人で準備するより少ない負担で、不測の事態に備えることができるのです。

図2 貯金は三角、保険は四角



「どんな目的で」「いくら」「どれくらいの期間」保障される保険かを明確に

あなたは、自分が入っている

火災保険や地震保険、自動車保険などの損害保険は、その必要性や役割をイメージしやすいでしょう。そこで今回は、病気やケガ、死亡などに備える生命保険について考えてみましょう。

保険がどんな種類の保険で、どんな特徴があるのか、そして毎年どれくらいの保険料を支払っているかを明確に把握していますか？これにスラスラと回答できる人は意外に少ないのではないのでしょうか。

人生の3大資金は、「教育・住宅・老後」といわれています。実は、人によっては生命保険がこれらに次ぐ大きな支出になっているのです。毎月の固定費として少くない額を支払っている、積み上げると膨大な費用になるのに、その中身を知らないというのはおかしいことですよね。

テレビやパソコン、自動車などを買うときは、カタログのスペックを読み、実際に操作したり乗ったりしてみるのに、保険の場合は、営業担当者の説明を聞いて「入っていた方が安心」という程度の理解のまま受け身で「加入」した人も多いのではないのでしょうか。保険会社と「契約」を結ぶのですから、保険という商品の基本である「どんな目的で」「いざというときにいくら」「どれくらいの期間」保障されるのかは、最低限理解しておく必要があります。

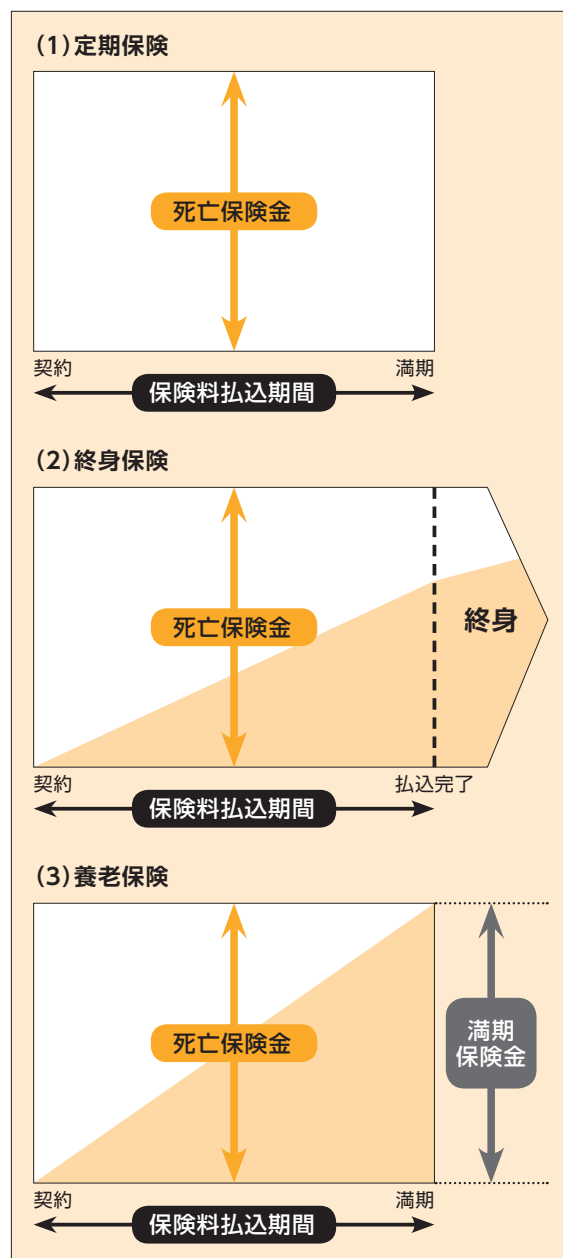
さまざまな生命保険

生命保険にはさまざまな種類があります。被保険者が死亡した場合、一定期間の死亡保障を確保する「定期保険」、死亡した際に保険金を年金形式で受け取れる「収入保障保険」、生涯死亡保障が続く「終身保険」、保険期間が一定で死亡保険金と満期保険金と同額の「養老保険」、病気やケガに備える「医療保険」、がんや三大成人病に備える「がん保険」や「特定疾病保障保険」、老後に備える「個人年金保険」、介護に備える「介護保険」、子どもの教育費に備える「学資保険」、医療保障などが終身保険や養老保険の特約となっている場合や、いくつかの保険の組み合わせという場合もあります。ここでは基本知識として、「定期保険」「終身保険」「養老保険」について、ポイントを説明します。

(1) 定期保険

定期保険とは、死亡保障を、ある一定の期間（定期）にわたって確保することを目的としたもので、保険期間内であればどの時点で被保険者が死亡しても保険金を受け取ることができます。1年、

図3 生命保険の基本的なしくみ



図中のオレンジ色の部分は、将来の保険金などの支払いに備えて積み立てられる部分。

(2) 終身保険

名称の通り、被保険者が死亡するまで一生涯の保障が続きます。途中で解約したときには解約返戻金があります。返戻金は保険会社や契約時の年齢、性別など

(3) 養老保険

満期保険金と死亡保険金と同額の保険で、保険期間が終了した場合に満期保険金を受け取れます。保険期間中に被保険者が死亡した場合は、払込途中でも死亡保険金

5年、10年ごとなどの保険期間満了後に更新していく「更新型」、30年などの長い期間まとめて加入する「全期型」のほか、保険金が徐々に減少していく「通減型」や「収入保障保険」などがあります。満期保険金はなく、いわゆる「掛け捨て」ですが、割安な保険料で大きな保障を得ることができるのが特長です。また解約のデメリットが少ないため、柔軟に保険金額を見直すことができます。

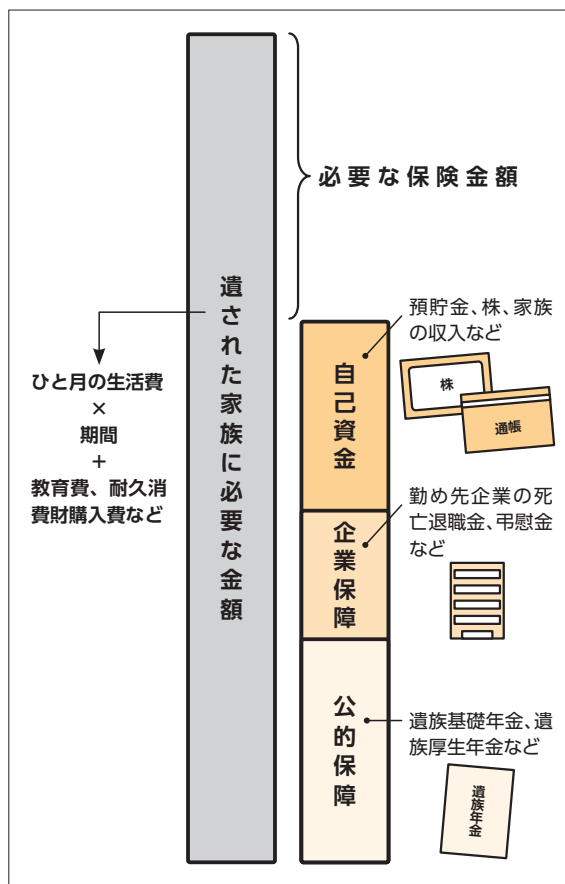
によっても異なりますが、保険料払込終了後の場合は、支払った保険料を上回り、以後は解約しない限り返戻金が増えていくというものもあります。保険料払込期間は、10年、15年、20年、あるいは60歳まで、65歳までなどと任意に設定できます。解約返戻金があり、一生涯保障が続くため、契約年齢、払込期間が同様で、死亡保険金と同じ定期保険に比べ保険料は割高です。

が受け取れるため、養老保険で大きな死亡保障を確保するには非常に高額な保険料が必要になります。利率のいい時代に契約したものは貯蓄性が高いため、保険料が高いからと安易に解約してはもったいないものもあります。保険の見直しにあたっては注意しましょう。

いくらの保険が必要か

以上、万一のときに死亡保険金を受け取れる3つの保険を紹介しましたが、では、皆さんには保険金がいくら必要になるのでしょうか？ 自分や家族に合った保険を

図4 必要な保険金額



考える場合の基本は、いざというときに家族の生活を守るためにいくらか必要かを考えるということです。建物の設計図には、単に建設会社を作り方を伝えるというだけでなく、どのような建材をどれくらい使用して、どのように作るかを決めることで建設費用を算出し予算と比較するという大きな目的があります。人生の設計図であるライフプランも同じです。ライフプランを立てれば、人生で必要なお金を把握できますし、予算（人生を通じた収入）と差があれば設計図段階で修正もできます。

保険金額を考える際の簡単なイメージは次のとおりです。例えばひと月の生活に約30万円必要で、子

どもが就職するまでに14年かかるとします。大雑把ですが、30万円×12カ月×14年＝5040万円となります。このほかに入学金や学費（例：私立大学文系の平均では入学金が25万円くらい、年間授業料75万円くらいなど、自動車や家電といった耐久消費財の購入なども考えておく必要があります。もちろん、そのすべてを生命保険で用意する必要はありません。他の家族の収入のほか、遺族年金などの公的保障や、勤め先の企業から死亡退職金や弔慰金が出る場合があります。また預貯金など、それまでに築いた個人資産もあります。それらを差し引いて足りない分を万一のときに保険でカバーできれば

よいのです。そのうえで、再度ライフプランやリスクの性質を見ながら、貯金と保険との使い分け、保険に入る場合に負担できる保険料や必要な期間、それに適した保険商品はどれか、などを考えていけばよいのです。

ライフイベントごとに保険の見直しを

いろいろ検討したうえで決めた保険も、人生を歩む過程で、「どんな目的で」「いざというときにいくら」「どれくらいの期間」は変わってきます。頻繁に見直す必要はありませんが、人生の節目となるライフイベントを機に点検することをおすすめします。見直しのタイミングとしては

- ① 結婚
- ② 子どもの誕生
- ③ 住宅の取得
- ④ 子どもの進学
- ⑤ 子どもの独立
- ⑥ 定年退職、引退

などが考えられます。結婚は二人でどんな人生を送りたいか考える機会です。子どもが生まれたら、その子の将来まで考えたプランが必要になり、子どもの進学の際（とくに中学入学が節目）には、

先の教育費が具体的にイメージできるようになります。また、その頃には住宅を購入する人も多いでしょうし、キャリア面の将来もそろそろ見えてくるころでしょう。そして子どもが独立すれば、いざというときの保障は少なくして、今度は夫婦の老後を見据える必要があります。やがて定年を迎えますが、人生80年時代、その先に続く長い老後をどう生きるかを踏まえた、新たな人生への備えを考えなくてはなりません。未来が変わると、それを支える生命保険も変えていく必要があるのです。

ここまで人生のリスクにお金の面で備えるための保険の考え方を述べてきましたが、いざというときあなたや家族を助けてくれるのは、お金ばかりではありません。人間関係を大切にし、仲間や人脈を豊かなものにしておく、いざというときに支援が得られることもあるでしょう。自身のスキルを磨いたり、趣味を深めておくことも、思わぬ形で役に立つことがあります。そして何より大切なのは、「もしも」のことが起こらないように、日々の健康に気をつけることです。

人生のトータルなリスクマネジメントによって、豊かで安心な毎日を過ごしたいものです。

中学生・高校生を対象とする 作文・小論文コンクールの審査結果

金融広報中央委員会では、中学生や高校生に金融・経済への関心を高めていただくことを目的として、作文・小論文コンクールを開催しています。厳正な審査の結果、2014年度は以下の方々が上位に入賞されました。入賞作品のうち、高校生小論文コンクールにおいて、金融広報中央委員会会長賞を受賞した『「生活費」の難しさ』の全文を掲載します。

第47回「おかねの作文」コンクール特選

金融担当大臣賞

「お金の重み」 小林 尚子（京都府 京都市立嵯峨中学校 3年）

文部科学大臣賞

「私の価値」

岡本 晋（東京都 東京都立大泉高等学校附属中学校 3年）

日本銀行総裁賞

「お金の大切さとための楽しさ」

松田 亜久里（神奈川県 藤沢市立片瀬中学校 3年）

日本PTA全国協議会会長賞

「おかねと自分」 舟橋 龍観（愛知県 犬山市立東部中学校 1年）

金融広報中央委員会会長賞

「お金から広がる感謝の輪」

加藤 小百合（愛知県 名古屋市立東星中学校 2年）

第12回「金融と経済を考える」高校生小論文コンクール特選

金融担当大臣賞

「地元商店街の未来」

高森 日奈子（岡山県 岡山県立岡山南高等学校 3年）

文部科学大臣賞

「消費者の選択」 津牧 美葉子（京都府 同志社女子高等学校 1年）

日本銀行総裁賞

「受け継がれる想い」 橋本 有加（兵庫県 雲雀丘学園高等学校 2年）

全国公民科・社会科教育研究会会長賞

「私の思い描く笑店街」

大坪 右弥（京都府 京都府立京都すばる高等学校 3年）

金融広報中央委員会会長賞

『「生活費」の難しさ』

塩地 里佳子（神奈川県 神奈川県立川和高等学校 1年）

*全入賞者の氏名などおよび上位入賞作品は知るぽるとホームページ（<http://www.shiruporuto.jp/>）でご覧いただけます。

「生活費」の難しさ

神奈川県立川和高等学校 1年

塩地 里佳子

私は現在、父と二人で暮らしている。家事は二人分だけなので慣れてしまった今では大した負担ではない。だがそれ以上に、私は自分のお金の管理が不安であった。

私には二種類のお金が渡されている。まずは毎月貰える自分のお小遣い。これは自分の趣味や友人との交際費にあたる。そして生活費というものが別で渡されている。生活費といっても私の手元に必要なのは、食費や日用品のお金くらいだ。しかし実際に預けられてみると、同じお金なのに小遣いと比べ物にならない程、使うのに緊張が伴うのだ。

私はこの二種類のお金を管理するにあたって、心がけていることが三つある。

まず大前提として、自分が何にいくら使ったのか、いくら残っているのかを正確に記録するということだ。お小遣いも生活費も一回の出費がそんなに大きくはないため、こまめに記録しないと、気づいたら足りなくなっていた、などということになりかねない。

以前はレシートを失くしてしまふことなどしょっちゅうだったし、財布に今いくら入っているかも把握しようとしなかった。だから父から1か月分の生活費を預かったときには、自分に管理できるのか怖くなってしまったものだ。だからこそ、お金の動きを目に見える形で確認することが大切だ。家計簿というほどのものではないが、レシートを整理して残額をメモしておく、貰った額も記録しておく、この小さな習慣にどれだけ支えられていることか。今まではいつの間にか減っていたお小遣いも、記録を始めてからは次に貰えるまでの日数を考えた計画的な使い方ができるようになった。二つ目に、節約することだ。記録をつけ始めて、今まで気に留めていなかった1円単位の価格の差がとても気になり出したのだ。今までは真面目に見たこともなかったスーパーの広告を、気づいたら見比べて買い物のルートを考えたりしていた。小さい頃は母がそうしているのを見て、どうせ10円くらいの違いなら、面倒だから1か所で済ませればいい、なんて思っていた。それが今では自発的にそうしている。友達と歩いても、ふとしたときに店頭の商

品の値段をチェックして家の近所の店と比べたりしてしまう。なんだか恥ずかしい気もするけれど、1円でも安い物を買うことは賢いことだと思う。これからずっと積み重ねていく節約が1年後には、10年後にはきっと私の助けになるだろう。また、お小遣いの使い方にも変化があった。節約の積み重ねは1円、10円ずつだけど、無駄使いのそれは100円、200円ずつである。学校帰りに友達と寄り道をする機会を減らしたのは、家事と勉強の時間のためもあるけれど、やはりお金の大切さを強く感じたからでもある。その代わり、今日は遊ぶ、と決めたらしい。遊び。ただしあらかじめ使うお金の上限を決めて出かけるようにしている。その結果、今までは毎月あれば使ってしまったお小遣いが余るようになっていた。今までいかに浪費していたか思い知った。

そして三つ目は、お小遣いから払う物と生活費から払う物を明確に決めておくことだ。これは、初めに父と相談して細かく決めておけばよかったのだが、そうしなかったために迷ってしまったことがある。例えばお菓子は食費から払ってよいのか。これはまだ

わかりやすくて、お菓子を食べるのは私だけなことで、食事ではなくて食べたいだけであることからお小遣いから払う。しかし当初買物で悩んだのは主に日用品だ。シャンプーや日焼け止めなどは父と共有しないが今まで自分で買っていた物ではない。さらにそういった物はどこまでが必需品といえるのかわかりにくく、生活費から出してよいものか判断がつかなかった。父とよく話し合った結果、細かく区別をつけたので今は迷うことはほぼなくなった。ここから私は、使い道のはっきりしないお金は持っていない方がよいとわかった。生活費はあくまでも父から「預けられた」お金であり、安心して預けてもらうためにもお互いの認識にずれをなくすることが必要だと感じた。今も、少しでも迷ったらすぐに確認をとるようにしている。

父との二人の暮らしが始まってからまだ数か月だが、お金に対する考え方は既に大きく変わった。今まで何も考えずに月に一度入ってきてから出ていくだけだったお小遣いが、管理された計画的な使い方ではたまっている。まさか高校生のうちに生活費をやりくりするとは思わなかったが、

買物物はこんなにも頭を使うものだ。と知って少し大人に近づいた気分だ。将来一人暮らしを始めたら、電気、水道、ガスや家賃、その他にも自分の携帯電話の料金などまで管理しなければなら

ない。大学生になったら一人暮らしをしてみたいなんて思っていたけど、お金の管理の大変さや、実家暮らしの方が遥かに経済的であることまで頭が回るようになって、考えを改めた。高校生になってほとんどの場所で大人と同じ料金を払っているけれど、私達はまだまだ親の元を離れられないと知った。父は帰りが夜中になることがほとんどなので、一人暮らしのように感じることはある。しかし、もし父が家にいなくて、たとえお金だけがあったとしてもきつとまともに暮らしていけないと思う。料理や洗濯が手早くできるようになって、ごみの日を覚えて、戸締まりを絶対に忘れない習慣がついても、お金をすべて自分でやりくりしろと言われても無理である。両親がたまに税金をどこに振り込むとか、保険金をどうするとかの難しそうな話をしていたが、大人になっただけでもないが実は恵まれた経験なのかもしれない。

生活費もお小遣いも今は同じ財布で持ち歩いているが、私の目には異なるお金として見えている。常に持っているお金を把握するようになったし、預けてもらえるとすることはそれなりに信頼されているということだと私は思っている。それを壊さないためにも、預けられた責任を持つてお金を管理していきたい。

だ。高校生の今、お小遣いと生活費という二種類のお金を管理することは、望んでこうなったわけではないが実は恵まれた経験なのかもしれない。



「おかねの作文」コンクール



「金融と経済を考える」
高校生小論文コンクール

一般社団法人 日本損害保険協会

リスクに対する意識を高め、損害保険を正しく活用いただくために

一般社団法人日本損害保険協会（以下「損保協会」）では、身の回りのリスクに対する意識を高め、損害保険を正しく活用いただくために、講師派遣活動や損保協会ホームページを通じて情報提供活動に取り組んでいます。

1. 講師派遣活動

高校や大学に講師を派遣し、教育現場を支援しています。高校生向けでは、「交通事故とその責任」、「自転車事故と交通安全」などをテーマとして、協会職員が講演をするとともに、教師自らがリスク管理に関する授業を行うための副教材「金融（保険）教育プログラム」を提供しています。この副教材は、生徒向けの「ワークシート」と教師向けの「手引き」からなっており、1時限で完結できるなど、初めてでも取り組み易いよう工夫をしています。また、大学生向けでは、統計資料などを活用して身の回りのリスクへの認識を高めてもらうとともに、その備えとしての損害保険の概要と機能、さらには契約時の注意事項などについて講義をしています。

消費者向けでは、消費生活センター等が実施する講演会などに講師を派遣し、「交通事故とその責任」、「自然災害に備える損害保険」などをテーマとして、自分のニーズに合った保険商品を適切に選択する力を身に付けることができるよう啓発に取り組んでいます。

講師派遣のお申込みは損保協会ホームページから行うことができます。講演料などは無料ですので、是非ご利用ください。

2. 損保協会ホームページによる情報提供活動

専用サイト「そんぽのホント」で、損害保険のしくみや基礎について体系的に学んだり、点検したりすることができます。また、本サイトでは、学校向けにさまざまな教材を紹介する「スクールナビ」のコーナーも設けています。

このほか、損保協会ホームページでは、交通安全・防災や損害保険に関する各種啓発ツールを公開していますので、是非ご利用ください。

(<http://www.sonpo.or.jp/>)



ワークシート



手引き



専用サイト「そんぽのホント」

企業型確定拠出年金における投資教育

運営管理機関連絡協議会は、確定拠出年金（以下、DC＝Defined Contribution Plan）の運営管理機関である証券、生損保、銀行、信託銀行等の横断的な組織として、DC制度の普及ならびに健全な発展のために設立された任意団体です。主な活動は、DCの調査・研究、制度に関わる意見の表明等があります。

DC制度は、公的年金に上乗せされる部分として、拠出された掛金を加入者自ら運用するという制度で、平成13年にスタートしました。現在の加入者数は500万人を超える水準に達していますが、今後、制度改正により公務員や専業主婦もDC加入が認められる方向で検討が進んでおり、加入者の裾野はさらに広がっていく見込みです。こうした中で、加入者が適切に運用商品を選択するための投資教育の重要性は益々高まっています。

DC制度では、法令によって2つの投資教育が求められています。ひとつは、DC制度を導入する際に加入者等に対し行う導入時教育。もうひとつは、知識をさらに向上させるための継続教

育です。制度導入から一定期間が経過した現在、継続教育への関心が高まりつつあります。

運営管理機関等は、事業主の投資教育への取り組みを支援し、実効性を高めるために様々な投資教育メニューを用意しています。なお、加入者等に提供すべき内容として、法令等では（1）DC制度等の具体的な内容、（2）金融商品の仕組みと特徴（種類、リスク、リターン等）、（3）資産の運用の基礎知識（長期投資・分散投資の考え方とその効果等）、（4）DC制度を含めた老後の生活設計、が示されています。運営管理機関連絡協議会参加全社は、この法令と「金融リテラシー・マップ※」の対比内容を共有化し、一般社会人の金融リテラシーの到達水準を意識して、教育内容の工夫と充実化に努めています。

このようにDC制度の中で実施される様々な教育を通じて、加入者が金融リテラシーを身に付けることは、DCにおける資産形成に止まらず、自身のライフプランの実現や質的向上にも繋がると考えられます。



運営管理機関による会議

※「生活スキルとして最低限身に付けるべき金融リテラシー」の内容を具体化して、年齢層別にマッピングした（対応付けを行った）もの。「金融経済教育推進会議」が2014年6月に公表。

金融教育の現場レポート

「金融教育」は、社会の中で生きる力を育むことを目的として行われる教育です。このコーナーでは、金融教育の授業がどのように進められているか、教育現場に立つ先生や、授業を受ける生徒の姿をレポートします。

今回は、愛媛県松前町立岡田小学校教諭・樋口典子先生が、同校の先生方とともに取り組んだ小学校家庭科における金融教育についてご紹介します。

「身近な消費生活」の新しい学習に全教職員で挑戦

樋口先生は小学校家庭科において、愛媛県の特別研修を受けた家庭科のエキスパートとして、多くの研究授業を実践してきました。2012年度、岡田小学校が愛媛県教育研究協議会伊予支部から、家庭科の研究指定を受けたことをきっかけに、「身近な消費生活と環境」（学習指導要領における内容D）に焦点を当て、新たな授業実践の取り組みがスタートしました。研究指定校として3年にわたる実践が行われ、1年目には、樋口先生と、当時の研修主任であった則友先生を中心に研究の柱立ておよび5年生での授業実践、2年目・3年目には、全校を対象に授業実践が行われました。

しかし内容Dは、ほかの内容A（家庭生活と家族）、内容B（日常の食事と調理の基礎）、内容C（快適な衣服と住まい）と比べて新しい内容のため事例や資料が少なく、同校独自でカリキュラム作りから始める必要がありました。

まず同校では、1～6年生のさまざまな教科等の学習と関連付けて実践的に学ぶことを考えて指導計画を見直し、家庭生活を総合的に捉えた題材構成を工夫したり、他学年他教科等におよぶ関連教育も取り入れたりしています（図表1）。



例えば、1～2年生は道徳で「物やお金を大切に育てる学習」、3～4年生では学級活動で「こづかいゲームなどを用いた「お金

愛媛県
松前町立岡田小学校
樋口典子教諭

[illegible]

手探りで作り上げた
できる・分かる・考える授業

【図表2】「買物シミュレーションワークシート」



やお金ぐめさせ、買物名人」の5時間授業です。先生方がとくに重視したのは「できる・分かる・考える授業づくり」という視点でした。

子どもたちが買物をする上で、「優先順位」を考え「意思決定」ができるよう、「物や金銭の大切さ」、「金銭の計画的な使い方」、「適切な買い方」、「物を長く使う工夫」、「環境を考えたエコライフ」を学習目標に掲げ、1年目より「買物シミュレーション」を導入（図表2）。おこづかい1000円が適正な金額かどうかの検証のために事前アンケートを実施したり、シミュレーションでの子どもたちの反

「おこづかいをもらっていない児童が多く、まず金額設定が壁になりました。１０００円と決定した後、おやつ、文房具、家族への誕生日プレゼントを買うようルールを決めたわけですが、いろいろな考えが出てきて、授業は非常に楽しく展開しました」と当時担任の新村先生は振り返ります。

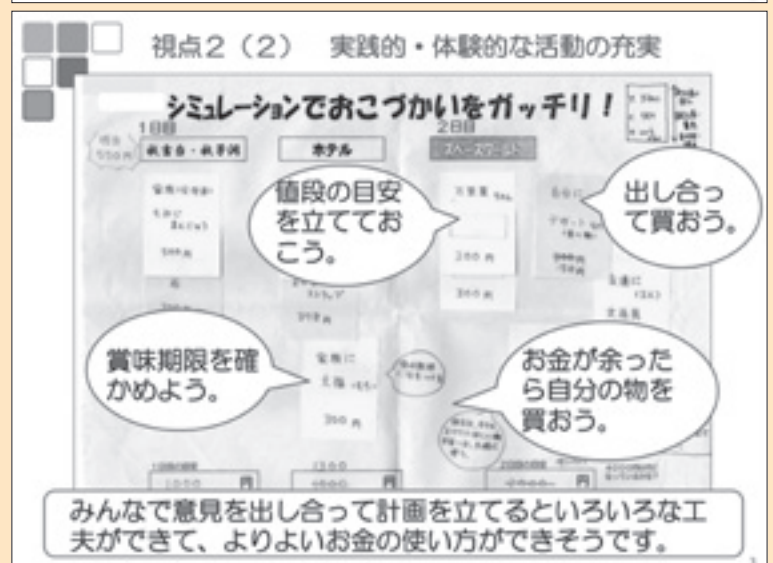
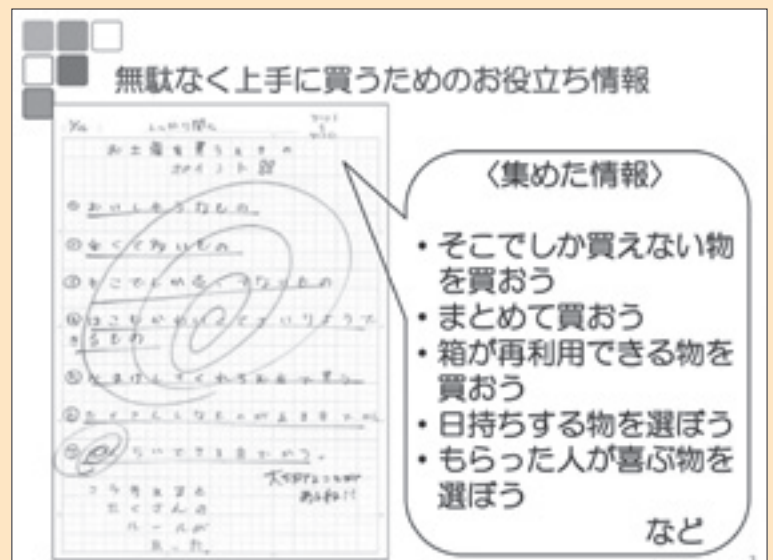
例えば、「誕生日プレゼントだから多めに使おう」、「高くて買えないものはお金を貯めてから買おう」など、「条件に合わせたお金の使い方」を学ぶきっかけになったことが大きな成果のひとつです。また最初は「買うこと」を前提としていましたが、子どもたちから「どうしても買うのか?」という問いかけがあり、「買う・買わないという自己決定」もできる項目を追加。教師も子どもたちも、この買物シミュレーションで多くの気付きを得て、授業内容もどんどん改善されていきました。

このプロジェクトでは、金融教育が1、2年生の道徳でお金や物の大切さに気付き、3、4年生の学級活動でお金の使い方を学び、

【図表3】視点2－（3）消費生活への理解と関心を高める、他学年他教科等との関連を図った学習指導の工夫（金融広報中央委員会主催「2014年度 教員のための金融教育セミナー」における発表資料より）



【図表4】「2014年度 教員のための金融教育セミナー」における発表資料より



※「お土産だからその土地のものを買おう」、「贈る相手に喜ばれるものを買おう」、「同じ人へのお土産なら友人同士で一緒に出し合ってより良いものを買おう」、「お土産を優先して自分の欲しいものは余ったら買おう」、「日持ちするものを買おう」、「賞味期限を確かめて買おう」、「みんなでまとめて買おう」などを吹き出しコメントにして表にする。

高学年はその実践へと発展していくという学校全体の取り組みへと広がりを見せていったことが大きな特徴です（図表3）。6年生では「修学旅行で無駄なく上手にお金を使おう」という新たなカリキュラムが、5年生のときに基礎編を学んだ「じょうずに使おう物やお金」の応用編を実践する場となります。

修学旅行に関する金融教育として、「修学旅行のお金（3万円）の使い

方について考える」、「無駄なく上手にお金を使うために必要な情報を集める」、「工夫しながら計画を立てる」、「修学旅行で買物体験」、「お金の使い方を振り返る」を計画。修学旅行費用の3万円の価値を学び、そのうち4000円がお土産用のおこづかいとして使えるため、土産物の下調べ、リストアップ、買物メモの作成などを事前学習で実施。限られた場所（土産が買えるのは3カ所）、

限られた買物時間の中ではなかなか難しく、考えた通りにはいかなかった子どもたちが多かったものの、5年生のときの学習を土台に、絶好の実践になったと樋口先生は話します。

「3万円を『生きたお金にするため』にも、楽しんで有意義な時間を過ごすという意識が高まり、早起きする練習をしよう」とか、いろいろな枕で寝て慣れておこう、など微笑ましいエピソードも含め、本当に子



どもたちが修学旅行を楽しむことにつながりました。また【図表4】のような多くの視点を持てたことも大きな成果だったと思います」。

また、6年生の最終題材「お弁当」を作る調理実習の授業では、買物から子どもたちに任せました。買物の予算の作成から、予算内で買物を行い、最終的には「自分のお弁当は何円ですか?」といった単価計算まで、十分理解できる力が身に付いていたといえます。

「5、6年生の2カ年にわたり金融教育を実践できた子どもたちの成長を強く感じる結果でした。学校行事である修学旅行と家庭科で共通した枠組みのもとで体験的な学習ができる点は、今後の実践にも活かしていきたいという自信になりました」と樋口先生は話しています。

これからの 「生きたお金」の金融教育

家庭科の内容D「身近な消費生活と環境」は現在の学習指導要領から注目されるようになった新しい内容であり、家庭科のエキスパートである樋口先生も、「今後、小学

校家庭科における『消費生活』の題材は大きく変わっていくはずですよ」と期待を寄せています。

子どもたちが今回、「下調べや計画を立てることで、生きたお金の使い方ができる」ことを学んだように、家庭科が生きる力につながる総合的な教育になっていくことが、樋口先生の大きな目標です。

なお、実践における留意点として、子どもたちの家庭環境の違いも考え、「品質が一番」、「価格が大事」

といった価値観を押し付けるのではなく「目的に合ったもの、品質の良いものを、より良い価格で買いたいでしょう」、「お金は無駄なく上手に使いたい」という視点をベースにしていると言います。

「今後も継続して家庭科における金融教育の研究を進め、教師の技能や経験にかかわらず指導できる授業案づくりにも力を入れていきたいと思っています。そして、お金や物を大切にする子どもを育てていきたいですね」。



左から、加藤亜紀子先生、樋口典子先生、新村理昂（まさたか）先生、則友（のりとも）美紀先生

じょうずに使おう物やお金 ～めざせ、買物名人～

中高生が知っておきたい ホントに大事なお金の話

— 第4回 — 講師：佐伯良隆 東京都金融広報アドバイザー

このコーナーでは、全国で活躍している金融広報アドバイザーによる誌上公開セミナーを行います。第4回の講師は東京都の佐伯良隆さんです。佐伯さんは、政府系金融機関や外資系投資顧問会社でキャリアを積み、現在は日本における金融教育をライフワークに掲げて活躍中。今回はとくに、中高生向けに行っているセミナーをご紹介します。



「お金の法則」 リスク・リターンを知ろう

世の中には「お金の法則」があります。ちょっと専門的な言葉でいうと「リスク・リターンの法則」です。リスクをとらなければリターンは得られません。このリスクを「危険なこと」と捉える人が多いのですが、金融の世界のリスクとは「変動の幅」を意味しています。

私たちがどのような職業に就いて、その付加価値をどうお金に換えるか（つまり稼ぐか）は、リスク・リターンの法則で説明ができます。プロスポーツ選手や芸能人、起業家として成功する人

はリスクも大きい、リターンも大きい。会社員や公務員はリスク（成功と失敗の幅）が小さい、リターンも小さいということになります。それぞれのリスク（変動の幅）に見合ったリターン（収益）が、「お金の法則」です。

だとしたら、「おいしい儲け話がありますよ。100万円が5年で倍になりますよ」という言葉信じますか？ 必ず儲かるなんて、おいしい話は世の中にはありません。それは「お金の法則」に反しているからです。

しかし中には、「宝くじなら、楽しく儲かる」という人もいます。300円の投資

佐伯 良隆（さえき よしたか）

政府系金融機関在職時、ハーバード大学経営大学院MBAを取得し、世界銀行や日本政府のプロジェクトとして諸外国で財務研修を担当。その後、米国投資顧問会社で金融アナリスト、ファンドマネージャーを経て独立。現在、グロービス経営大学院専任教授、英語教室代表を務める傍ら、東京都金融広報アドバイザーとして活躍中。著書には、「知識ゼロでも2時間で決算書が読めるようになる！」（高橋書店）、「日本人が教わらなかった 知っておきたいホントに大事なお金の話」（同）。

で2億円が当たったら、こんなにラッキーなことはありません。ただ、「期待収益率」の考え方を知っていれば、宝くじの仕組みは「ハイリスク・マイナスイターン」だということが分かります。

なぜ、多くの大人がおいしいもうけ話にだまされるのか？
大切な **お金の法則** を知らないから

リスク・リターンの法則 幸せになるために
大切なお金の教養

ことわざ 虎穴に入らずんば、虎児を得ず。

No pain, no gain.

お金の世界では **No risk, no return.**

リスク をとらなければ、**リターン** は得られない。

不確実なこと

収益

確実に儲かるというおいしい話はない！
ただ飯はない There is no free lunch.

お金のプロは誰でも
知っている

宝くじの儲けの期待値は？ = **期待収益**

得られる儲け × 当たる確率 = **期待収益**
(リターン)

1等賞	2億円	1000万分の1	20円
前後賞	5000万円	500万分の1	10円
2等賞	1億円	1000万分の3	30円
3等賞	500万円	100万分の1	5円
4等賞	1万円	1000分の1	10円
5等賞	3000円	100分の1	30円
6等賞	300円	10分の1	30円

期待収益率 = どれくらい儲けられそうか

期待収益 … A 135円
支出額（宝くじ1枚あたりの値段）… B 300円
最終期待収益 … C (A-B) **-165円**
期待収益率 … (C/B) **-55%**

【金融広報アドバイザーとは】金融広報委員会からの委嘱を受け、各地において暮らしに身近な金融経済等に関する勉強会の講師を務めたり、生活設計の指導や金融・金銭教育などを行う金融広報活動の第一線指導者です。

期待収益率とは投資に対してどれだけ儲かる見込みがあるか、ということ。右下の表のとおり実は宝くじは、1枚300円のうち半分以上の165円は主催者に取られる仕組みです。つまり期待収益率はマイナス55%、非常に分の悪い投資です。枚数を買うほど当たる確率も上がりますが、費用も増えます。宝くじの収益金は社会の役に立っており、それ自体を否定するわけではありません。宝くじ1枚につき失う165円は「ワクワク・ドキドキ料」というところでしょう。

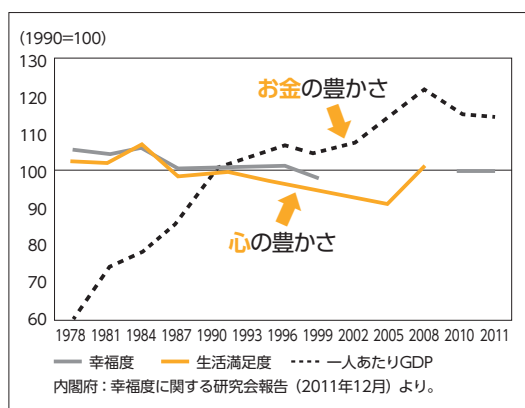
お金を稼ぐとは、 労働を通じて「価値」を 提供すること

「お金を稼ぐ」とはどういうことか、具体的に思い浮かぶ例はありますか？ 日本の中高生だと「おこづかい」はあっても、アルバイトの経験はあまりないかもしれません。アメリカではベビーシッターや芝刈り、手作りレモネードの販売などで、子どもときから「お金は労働の対価」ということを学んでいます。本来「お金を稼ぐ」というのは、「労働を通じて価値を提供する」ことです。衣食住に必要なものや、安心や

安全、医療や教育、レジャーなど、世の中には多種多様な価値がありますが、それはすべて、人が働くことによって生み出されているものなのです。つまり、お金を稼ぐということは、自分の能力を使って社会や人の役に立ていくことで、そのためにも自分の価値を高めていくことが大切です。学生の皆さんなら、今はしっかり勉強し、得意な分野を伸ばして将来に備えること。そして、お金のルールを知り、社会のために何ができるかを考えて仕事を選び、自分だけでなく人を幸せにするために働くことが重要だといえるでしょう。

幸せはお金で買えますか？

最後に「幸せはお金で買える



か？」ということを一緒に考えてみましょう。例えば、左上のグラフで見ると、約30年間で日本人一人あたりのGDPは約2倍になりましたが、幸福度はあまり変化していないようです。これはお金の豊かさが必要しも心の豊かさにはつなげていないということですね。

今は昔より生活は随分豊かになりました。一方、何でもお金で手に入るようになり、世の中にお金が増えるほど、「人の心」は流れなくなり、お金を払う消費者の心は逆に厳しくなっていくようです。

しかし、商品やサービスの本当の価値はお金だけでは測れません。例えば自分が支払うお金に、意識して「心を入れて」みましょう。社会の役に立ち、自分だけではなく人を幸せにするお金の使い方もあります。例えば経済的に恵まれていない国で生産された製品を公正な貿易取引で支援していく「フェアトレード」や、環境負荷の少ない商品選びによる「地球環境にやさしい買い物」など、さまざまな視点もぜひ学んでください。

お金は、人が作った製品やサービスを売買するためだけの手段ではなく、人びとの『ありがとう』という気持ちや信用が形を変え

たものです。生み出された価値に感謝の気持ちを持つことは、とても大切だと私は考えています。皆さんにも、それを自分で考え、判断できる大人になってほしいと思います。

今回のまとめ

- ★確実に儲かる
おいしい話はない
- ★お金を稼ぐとは、働いて
社会に価値を提供すること
- ★本当の価値はお金だけでは
測れない

使うお金に「心」を入れる

個人の意思

健やかに生きたい
環境を守りたい
地域のつながりを大切にしたい
公正な社会を作りたい

無農薬 有機農産物

環境負荷の少ない商品

地産地消

寄付

フェアトレード

金融・経済 おもしろ豆知識

古今東西、昔から伝えられているおとぎ話から現代の映画やマンガまで、お金や経済にまつわる物語は数え切れないほどたくさんあります。
今回は大人も楽しめる童話として広く知られるイソップ物語を取り上げます。

第4回

現代を生きるヒントがいっぱい！

童話「イソップ物語」

世界中で読まれているイソップ物語。「アリとキリギリス」や「金の卵を産むガチョウ」など、子どものころ読んだ絵本を思い出す方も多いかもしれません。古代ギリシアで生まれたといわれ、日本にはキリスト教宣教師によって持ち込まれた後、江戸時代の初期からは「伊曾保（いそほ）物語」として広く紹介され親しまれてきました。

神々や人間以外にも、動物や昆虫、太陽や風などの自然現象までが主人公となり、寓意に満ちた物語が展開します。数百年もある話の中から、今回はお金に関する教えにも繋がるお話をいくつか紹介しましょう。

まずは「怠け者のカラス」。自分の羽と餌のネズミを物々交換することで、働かないで食べ物を得られる生活を送っていたカラス。

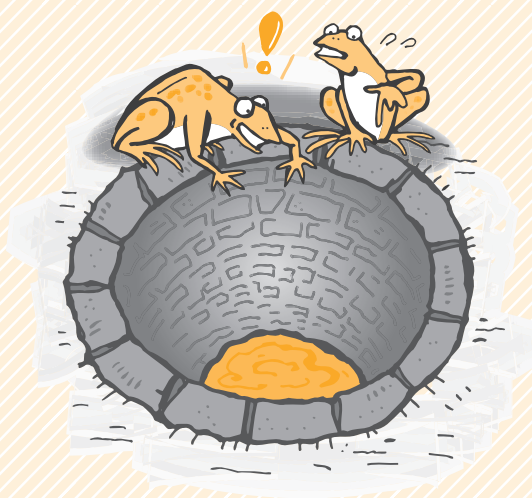
やがてすっかり太ってしまった一方で、羽はなくなり飛べないことに気付いたとき、キツネに襲われ食べられてしまうというお話です。シンプルがゆえに、勤労の大切さと蓄えを使い果たす恐ろしさを感じ知らされます。

また、ケチで欲深な男が全財産を金塊に換え、秘密の場所に隠して毎日それを眺めていました。ある日それを泥棒に盗まれてしまい、泣き叫んで嘆いている男に隣人はこう言い放ちます。「代わりに石を埋めておくといい。押んでいるだけなら同じことだ」。資産は持っているだけでは意味がなく、活かすことが肝心ということを教えてください。

こんな話もあります。住んでいた沼地が干上がってしまい、新天地を探していた二匹のカエルが、やっとのことで、水をたたえた深

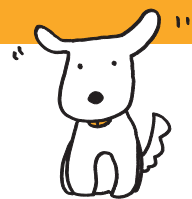
い井戸を見つけます。大喜びですぐさま飛び込もうとする一匹のカエルに対し、もう片方が「こんな深い井戸、もし干上がってしまったら、どうやって外に出るのか？」と諭します。儲かりそうな話に安易に飛び付かないという、資産運用における心得にも通じますね。

イソップ物語には、人間の賢さ、愚かさ、仕事、友情、家族など、人生にとって大切なさまざまな教訓が含まれています。ここでは、主人公たちが、欲や浅知恵によっておかしな失敗を繰り返します。そんな愚かな主人公を笑ううちに、実は私たち自身も同じだと気付かせてくれるのです。長年、人びとに語り継がれてきた物語だけに、読めば読むほど味わい深くなります。皆さんも折に触れ読み返す本を持っていますか。



参考資料：「イソップ物語」新書館、「イソップの暗号」無双舎、
「イソップ寓話の経済倫理学」PHP 研究所ほか

前号の「金融・経済おもしろ豆知識」本文上段10行目で『～内蔵助が即日切腹』とありますが『～内匠頭が即日切腹』の誤りです。お詫びして訂正いたします。



読者のみなさまの声を紹介します。
ありがとうございます。

●「レシート」で学べる金融教育はすばらしいアイデアだと思いました。レシートに対する小学生の提案、大人の私でもなるほどと思う意見があって、子どもたちが積極的に学ぶ姿が感じられました。私はとても簡単な家計簿をつけていますが、レシートをもう少しうまく活用してみようかなと思いました。
(愛知県・七八六さん)

●日本の教育で小中高校を通して経済についてもっと学ぶ機会を与えてほしいと思っています。
(鳥取県・ポチ子さん)

●「わたしはダメサレナイ!!」は、実際に起きた事件をもとに書いてあり、消費者被害の状況対策が参考になります。
(佐賀県・よかやつこさん)

●身の丈に合った住宅ローンの説明はまさにその通りと思います。金融機関や住宅販売会社のセールストークは冷静に聞いて、毎月のローン返済額は将来の家計をみつめて、極力抑えることが大事です。
(岐阜県・鹿熊寅造さん)

●「SNSによる」は、登録した利用者同士が交流できるインターネット上のサービス、SNSの恐ろしさがよくわかりました。同じ趣味などでつながっていても、全面的に人間は信用できませんね。子どもや孫に伝えます。
(兵庫県・花田明美さん)

●エンディングノートの記事が良かったです。私もまとめてみました。「今」がどうなっているのかの確認もできてとても良かったです。
(茨城県・しろたんさん)

●巻頭インタビューの澤穂希選手の記事、興味深く読ませていただきました。なでしこジャパンを有名にした立役者とも言える選手なのに「謙虚」と「質素」さを持っています。有名なスポーツ選手は、一般の人とはお金の感覚が違うんだらうなと思っていたので親近感を覚えました。「お金に振り回される人生は悲しいものですから」これは有名人も一般の人と同じなんですね。
(秋田県・有頂天さん)

知るぽるとクイズ

以下のヒントをもとにヨコに言葉を入れていくと、タテの太枠にキーワードが完成します。本誌に登場した印象的な言葉ですが、さて何でしょうか？

A.		ホ				プ	
B.			ゲ				ウ
C.	サ				レ		
D.			ス			ト	
E.		ワ					

ヒント

- A. 本州の中央にまたがる山脈も雪解け間近
- B. この数値が高すぎると家計も大変！
- C. 近ごろは5月の晴れ間。元は「梅雨どきの晴れ間」だそうです
- D. 女性アイドルが唄ったヒット曲では、この赤色の花が印象的
- E. ロープを使った手軽な運動

※答えは次号掲載

●前号の答え

プロサッカー

強烈なリーダーシップを発揮する澤さんの「どんな状況でも最前を尽くす」「謙虚」が最高の先生」という言葉は、女子サッカーにスポットライトが当たらないときからプレーを続けている、彼女ならではの言葉でした。

おたより募集中

「くらし塾 きんゆう塾」では、皆さまからのおたよりを募集します。クイズにお答えいただいた上で、下記宛先までお送りください。2015年5月31日までにご意見をくださった方の中から、抽選で10名の方に、「日めくりカレンダー」をプレゼントいたします。また、おたよりを本誌に掲載させていただいた方には、「知るぽると特製ボールペン*＆メモ帳」をプレゼントいたします。

※使い終わった紙幣の裁断片が入っています。

●記入していただきたいこと

- ①本号で面白かった記事
- ②本号で「もう工夫ほしい」と思った記事
- ③今後、取り上げてほしいと思うテーマ
- ④一言ご感想
- ⑤この広報誌を知ったきっかけまたは場所
- ⑥知るぽるとクイズの答（左記参照）
- ⑦ご住所・お名前・年代・電話番号
- ⑧「読者のおたよりコーナー」への掲載希望の有無/掲載するに当たり、本名ではなくペンネームをご希望の場合はペンネーム

※いただいた個人情報は、プレゼントの発送、誌面への掲載に関してのご連絡についてのみ、使用させていただきます。

●宛先

郵送 : 〒103-8660 東京都中央区日本橋本石町2-1-1
日本銀行情報サービス局内
金融広報中央委員会「くらし塾 きんゆう塾」担当宛
メール : info@saveinfo.or.jp
FAX : 03-3510-1373
金融広報中央委員会「くらし塾 きんゆう塾」担当宛

都道府県金融広報委員会一覧

委員会名	郵便番号	住所	電話番号
北海道金融広報委員会	〒060-0001	札幌市中央区北1条西6-1-1	011 (241) 5314
青森県金融広報委員会	〒030-8570	青森市長島1-1-1	017 (734) 9209
岩手県金融広報委員会	〒020-0021	盛岡市中央通1-2-3	019 (624) 3622
宮城県金融広報委員会	〒980-8570	仙台市青葉区本町3-8-1	022 (211) 2523
秋田県金融広報委員会	〒010-0921	秋田市大町2-3-35	018 (824) 7814
山形県金融広報委員会	〒990-8570	山形市松波2-8-1	023 (630) 3237
福島県金融広報委員会	〒960-8614	福島市本町6-24	024 (521) 6355
茨城県金融広報委員会	〒310-8639	水戸市南町2-5-5	029 (224) 2734
栃木県金融広報委員会	〒320-8501	宇都宮市塙田1-1-20	028 (623) 2151
群馬県金融広報委員会	〒371-8570	前橋市大手町1-1-1	027 (226) 2273
埼玉県金融広報委員会	〒333-0844	川口市上青木3-12-18 SKIPシティ A1 街区2F	048 (261) 0995
千葉県金融広報委員会	〒260-8667	千葉市中央区市場町1-1	043 (225) 7141
東京都金融広報委員会	〒103-8660	中央区日本橋本石町2-1-1	03 (3277) 3788
神奈川県金融広報委員会	〒221-0835	横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2	050 (7506) 1128
山梨県金融広報委員会	〒400-0032	甲府市中央1-11-31	055 (227) 2419
長野県金融広報委員会	〒380-0936	長野市岡田178-8	026 (227) 1296
新潟県金融広報委員会	〒951-8622	新潟市中央区寄居町344	025 (223) 8414
富山県金融広報委員会	〒930-0046	富山市堤町通り1-2-26	076 (424) 4471
石川県金融広報委員会	〒920-8678	金沢市香林坊2-3-28	076 (223) 9519
福井県金融広報委員会	〒910-8532	福井市順化1-1-1	0776 (22) 4495
岐阜県金融広報委員会	〒500-8384	岐阜市藪田南5-14-53 ふれあい福寿会館1棟5階	058 (213) 9257
静岡県金融広報委員会	〒420-8720	静岡市葵区金座町26-1	054 (273) 4112
愛知県金融広報委員会	〒460-8501	名古屋市中区三の丸3-1-2	052 (954) 6166
三重県金融広報委員会	〒514-0004	津市栄町1-954 三重県栄町庁舎3階	059 (246) 9002
滋賀県金融広報委員会	〒520-8577	大津市京町4-1-1	077 (528) 3412
京都府金融広報委員会	〒604-0924	京都市中京区河原町通二条下ル 一之船入町535	075 (212) 5193
大阪府金融広報委員会	〒530-8660	大阪市北区中之島2-1-45	06 (6206) 7748
兵庫県金融広報委員会	〒650-0034	神戸市中央区京町81	078 (334) 1129
奈良県金融広報委員会	〒630-8213	奈良市登大路町10-1	0742 (27) 5454
和歌山県金融広報委員会	〒640-8319	和歌山市手平2-1-2 和歌山ビッグ愛8階	073 (426) 0298
鳥取県金融広報委員会	〒680-8570	鳥取市東町1-220	0857 (26) 7160
島根県金融広報委員会	〒690-8553	松江市母衣町55-3	0852 (32) 1509
岡山県金融広報委員会	〒700-8707	岡山市北区丸の内1-6-1	086 (227) 5128
広島県金融広報委員会	〒730-0011	広島市中区基町8-17	082 (227) 4268
山口県金融広報委員会	〒753-8501	山口市滝町1-1	083 (933) 2608
徳島県金融広報委員会	〒770-8570	徳島市万代町1-1	088 (621) 2258
香川県金融広報委員会	〒760-0023	高松市寿町2-1-6	087 (825) 1104
愛媛県金融広報委員会	〒790-0003	松山市三番町4-10-2	089 (933) 6308
高知県金融広報委員会	〒780-0870	高知市本町3-3-43	088 (822) 0114
福岡県金融広報委員会	〒810-0001	福岡市中央区天神4-2-1	092 (725) 5518
佐賀県金融広報委員会	〒840-0815	佐賀市天神三丁目2-11 アバンセ3階	0952 (25) 7059
長崎県金融広報委員会	〒850-8645	長崎市炉粕町32	095 (820) 6112
熊本県金融広報委員会	〒862-8570	熊本市中央区水前寺6-18-1	096 (383) 2323
大分県金融広報委員会	〒870-0023	大分市長浜町2-13-20	097 (533) 9116
宮崎県金融広報委員会	〒880-0805	宮崎市橘通東4-3-5	0985 (23) 6241
鹿児島県金融広報委員会	〒890-8577	鹿児島市鴨池新町10-1	099 (286) 2544
沖縄県金融広報委員会	〒900-8570	那覇市泉崎1-2-2	098 (866) 2187

くらし塾 vol.32
さんゆう塾

平成27年4月発行

●編集・発行
金融広報中央委員会
●編集協力
廣告社株式会社

©金融広報中央委員会 禁無断転載

編集 後記

今号の「わたしはダマサレナイ!!」では主に若者をターゲットにした詐欺を取り上げました。春は、多くの人たちが進学や就職でひとり立ちをする季節です。だましの手口は常に新しくなり、複雑化かつ巧妙化しているといわれています。このマンガが、夢と希望にあふれる若い人たちが被害に遭わないために、少しでも役に立つことを願っています。

* 本誌は全国の金融広報委員会等でお配りしています。個人の方の定期購読はお取り扱いしておりませんのでご了承ください。

* なお、既刊号全号をPDFファイル形式で「知るぽると」ホームページ上に掲載していますのでご利用ください。

<http://www.shiruporuto.jp/about/kurashijuku/>



札幌市立北光小学校

大正13年（1924年）に開校した札幌市立北光小学校は、札幌市の都心から近い住宅地に位置しており、開校91周年を迎えた歴史ある学校です。100周年の佳節に向け、明るく強く、そして考える子どもを育てるさまざまな教育活動に取り組んでいます。



札幌市時計台

全校児童333名（2015年2月）の子どもたちは、「子」であり、「個」の集まりです。「子・個」を具体的にとらえながら、個に応じた目標に向かって、子ども一人ひとりの光に磨きをかけるという伝統は、今も受け継がれています。

2013・2014年度は、北海道金融広報委員会から「金融教育研究校」の委嘱を受け、社会科を中心に金融教育の授業に取り組みました。

授業では、子どもたちに身近な話題を取り上げました。4年生の公開授業では、水道水がなぜ有料なのかを話し合い、きれいで安全な水をいつでも使うことができるのはさまざまな施設やそこで働く人たちのおかげであることを学びました。また、学校や家庭で使う水道水の料金を予想させ、タブレット端末を使って自分の考えを電子黒板に表示させるなど、時代の流れに沿った学習も取り入れました。

3年生の社会科の授業では、自分たちの買い物について振り返り、スーパーマーケットの見学やお店の方へのインタビューを通して、価格以外にも安全や品質などの視点も含めた買い物ができるよう学びました。お店や品物を選ぶ際の工夫とともに、金銭の価値やお金を大切に使うことを学ぶことができました。

金融教育研究校としての活動を一つのきっかけに、今後とも、生活していく上で必要な知識や知恵について学びながら、新たな歴史を築いていきたいと考えています。



北光小学校



運動会

貯めるばかりじゃ
活かせない。
使うばかりじゃ
たまらない。



知るぽると 金融広報中央委員会 (事務局：日本銀行情報サービス局内)

金融広報中央委員会って？

おかねについての情報を、もっとくらしに役立ててほしい。

そのために必要な情報をわかりやすく届けたい。

そんな思いで活動しているのが、「知るぽると」の金融広報中央委員会。

日本銀行の中に事務局のある、中立・公正な団体です。

「知るぽると」は金融広報中央委員会の愛称です。

くらしに役立つ身近な知恵・知識の「港：Porto」「入り口」です。

知るぽると ホームページ

<http://www.shiruporuto.jp/>

